

# 2025年度第1四半期 決算説明資料

2025年7月25日

Micro&Fine Technology



日本精線株式会社

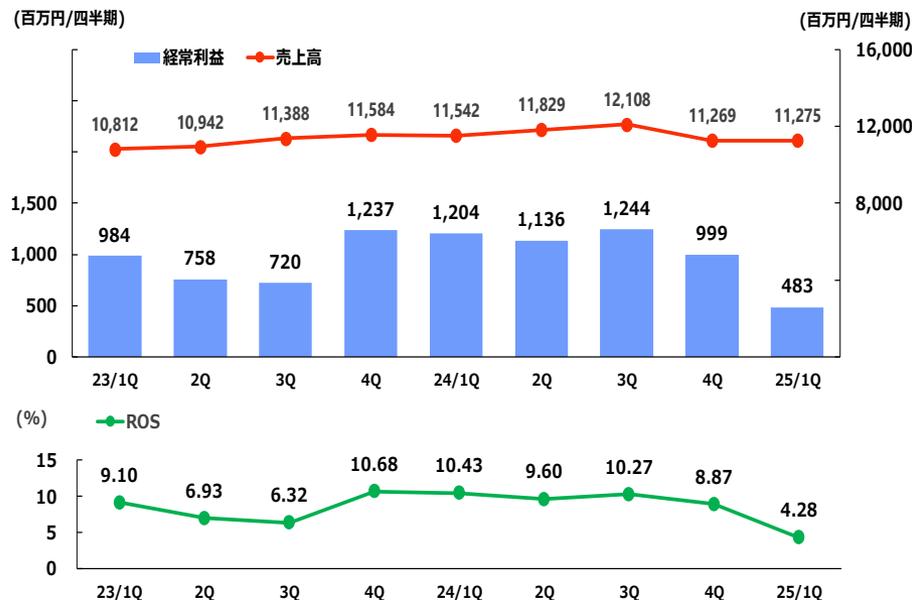
# 連結売上高・経常利益推移（四半期毎）

(百万円/四半期)

	24/1Q	25/1Q	増減	
売上高	11,542	11,275	▲267	
セグメント	日本	10,385	10,209	▲176
	タイ	882	848	▲34
	中国・韓国	275	217	▲58
営業利益	1,166	464	▲701	
セグメント※	日本	1,093	404	▲689
	タイ	46	30	▲16
	中国・韓国	49	36	▲13
経常利益	1,204	483	▲721	
親会社株主に帰属する四半期純利益	827	315	▲511	

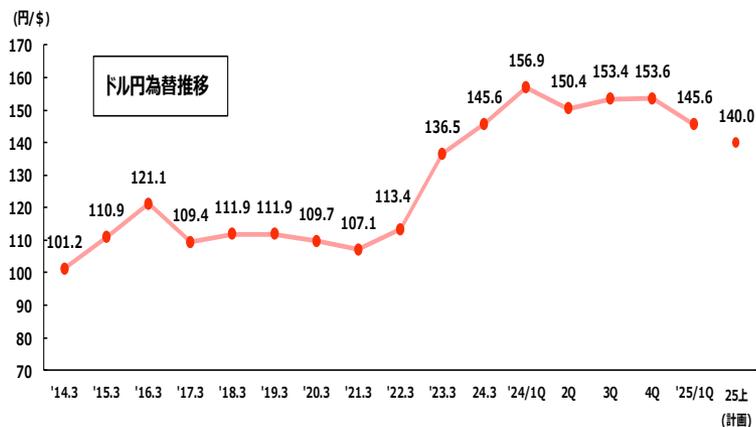
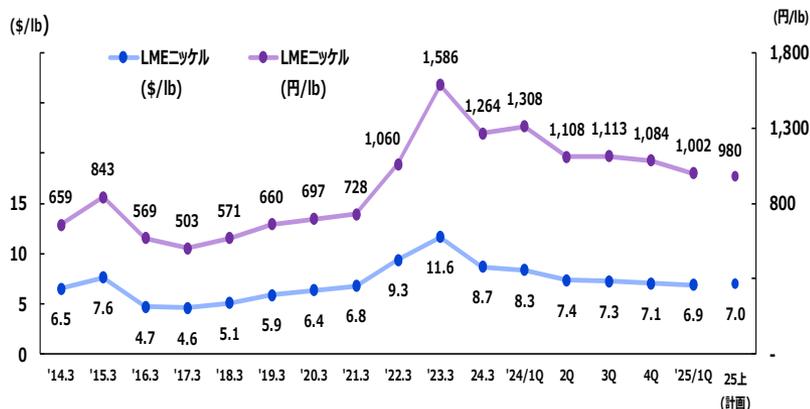
## サマリー（前年同期比）

★ステンレス鋼線の販売数量増加、金属繊維部門も堅調に推移したものの、太陽光発電パネル向けステンレス極細線の需要大幅減により減収減益



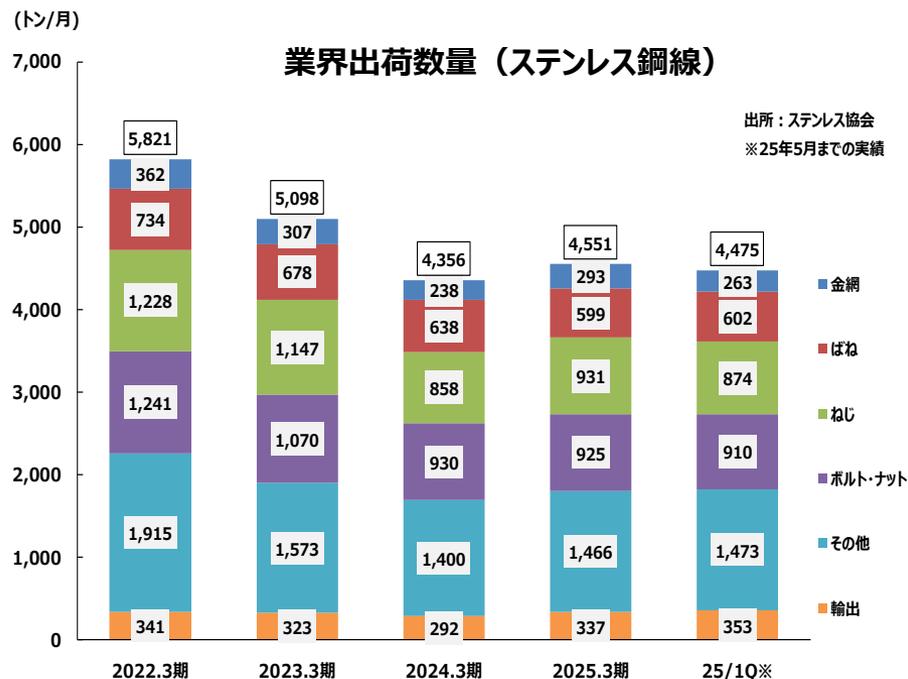
※セグメント利益調整前のため合計とは一致しない

## LMEニッケル価格 為替レート



## サマリー

- ★ LMEニッケル価格は緩やかな下落基調
- ★ 業界出荷数量は23年度に底打ちも本格回復には至らず

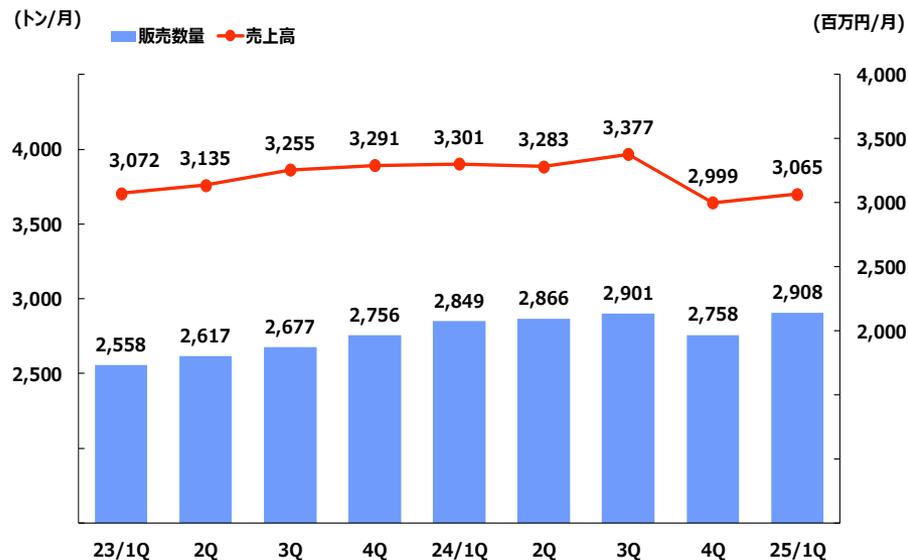


# 部門別売上高の状況（ステンレス鋼線）

	24/1Q	25/1Q	増減	
販売数量 (トン/月)	2,849	2,908	59	
売上高 (百万円/月)	3,301	3,065	▲236	
セグメント	日本	2,987	2,761	▲226
	タイ	294	283	▲12
	中国・韓国	20	21	1

## サマリー（前年同期比）

- ★ 中国での太陽光発電パネル在庫調整継続で極細線が大幅減
- ★ 米国関税の影響限定的

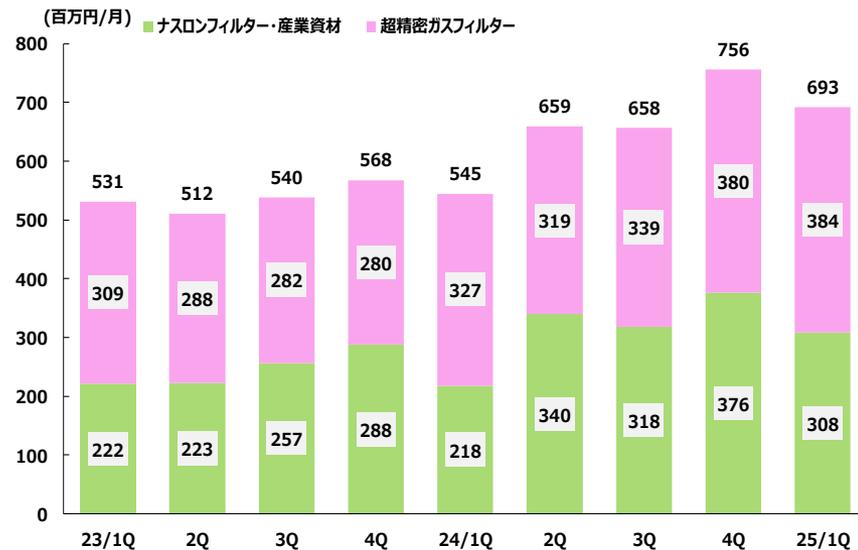


# 部門別売上高の状況（金属繊維）

売上高 (百万円/月)	24/1Q	25/1Q	増減	
ナスロン®フィルター 産業資材	218	308	90	
超精密 ガスフィルター	327	384	57	
合計	545	693	148	
セグメント	日本	474	641	167
	タイ	-	-	-
	中国・韓国	71	52	▲19

## サマリー（前年同期比）

- ★ ナスロン®フィルターは海外の炭素繊維関連の大型案件で大幅増
- ★ 超精密ガスフィルターは回復傾向、米国関税回避の仮需も加わり増加



	24年度	25/1Q	増減
高機能・独自製品 (百万円/月)	2,587	2,455	▲132
汎用品 (百万円/月)	1,308	1,303	▲5
高機能・独自製品比率 (%)	66.4	65.3	▲1.1

## サマリー（前期比）

- ★ ステンレス鋼線はばね用材など一部のアイテムで増加したものの、極細線減少の影響大
- ★ ナスロン®フィルター、超精密ガスフィルターはともに堅調

### 高機能・独自製品一例

#### ★ ステンレス鋼線

##### ・ばね用材

高強度や高耐熱、超非磁性のニーズに応じたオーダーメイド製品。医療関係や精密電子機器、次世代の水素社会を支える素材

##### ・極細線

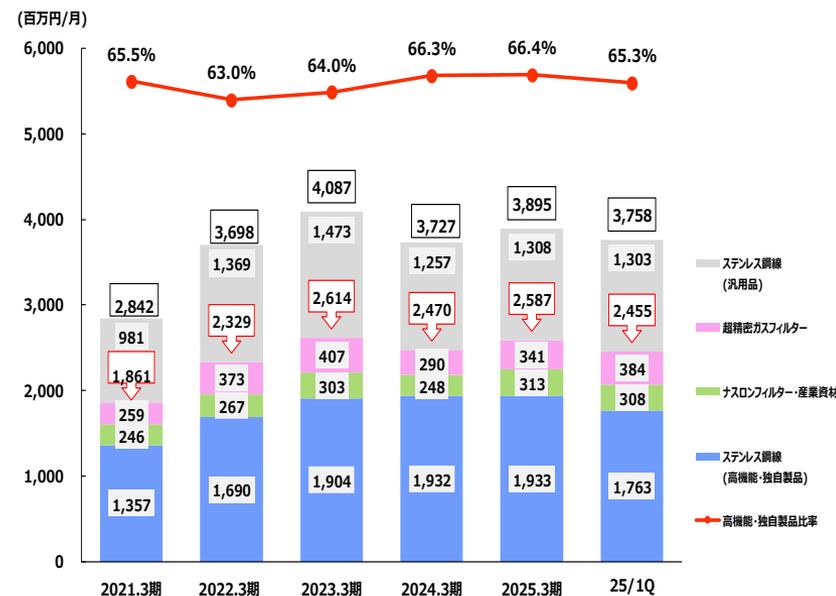
線径100μm未満の製品を総称し、高精度・高細密が要求される太陽光発電パネルや電子部品の製造プロセスに欠かせない素材

#### ★ ナスロン®フィルター

ステンレス鋼繊維ナスロン®を用いた高機能メタルフィルター。高強度、高耐熱で耐食性も優れており、フィルムや樹脂、炭素繊維などの製造の濾過プロセスで利用

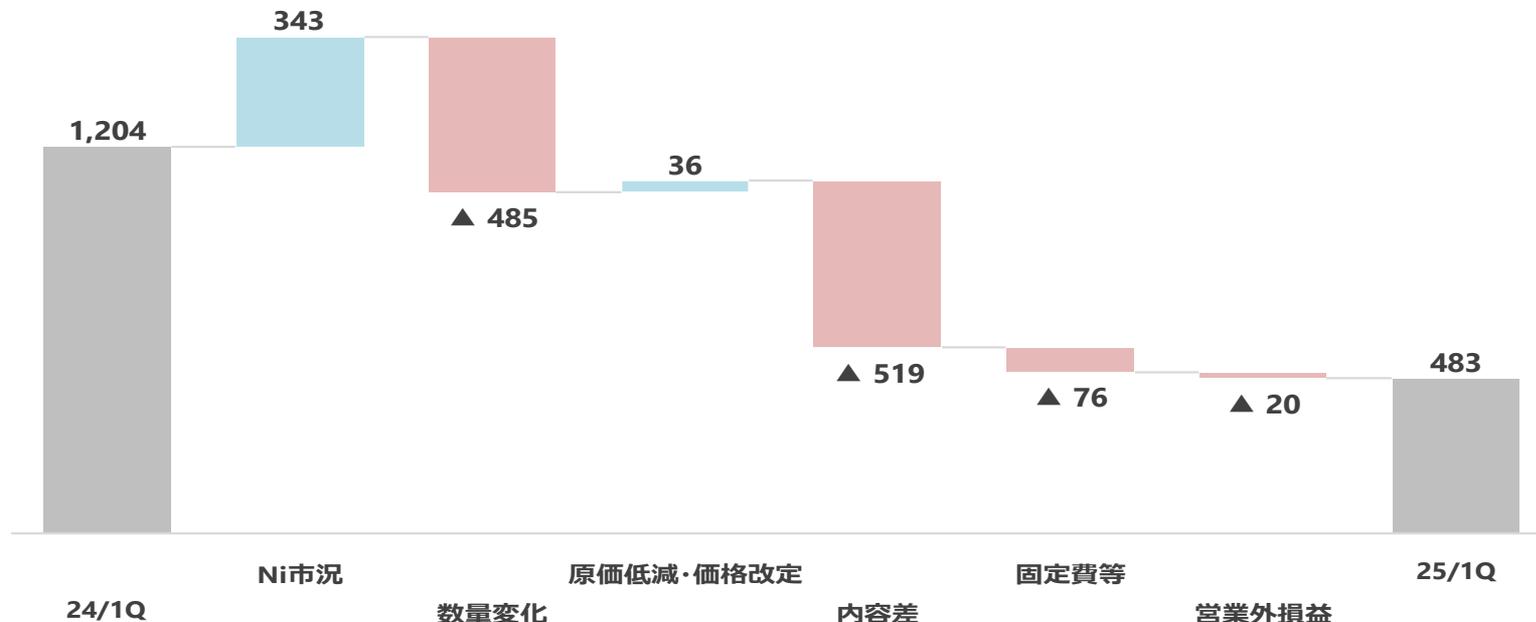
#### ★ 超精密ガスフィルター

ナスロン®をもとに製作したメタルメンブレン（膜）フィルター。半導体・フラットパネルディスプレイ等の生産過程でガスの濾過に利用され、半導体製造装置などに組み込まれる



# 経常利益の変化要因（前年同期対比）

（百万円/四半期）



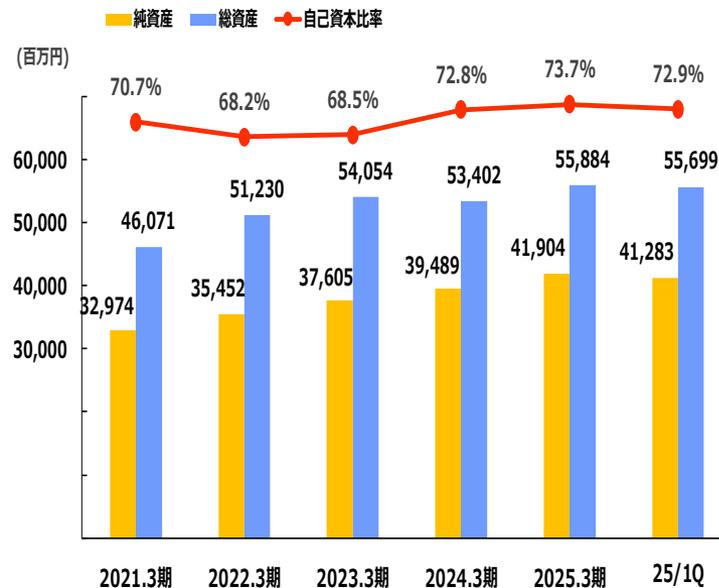
## サマリー

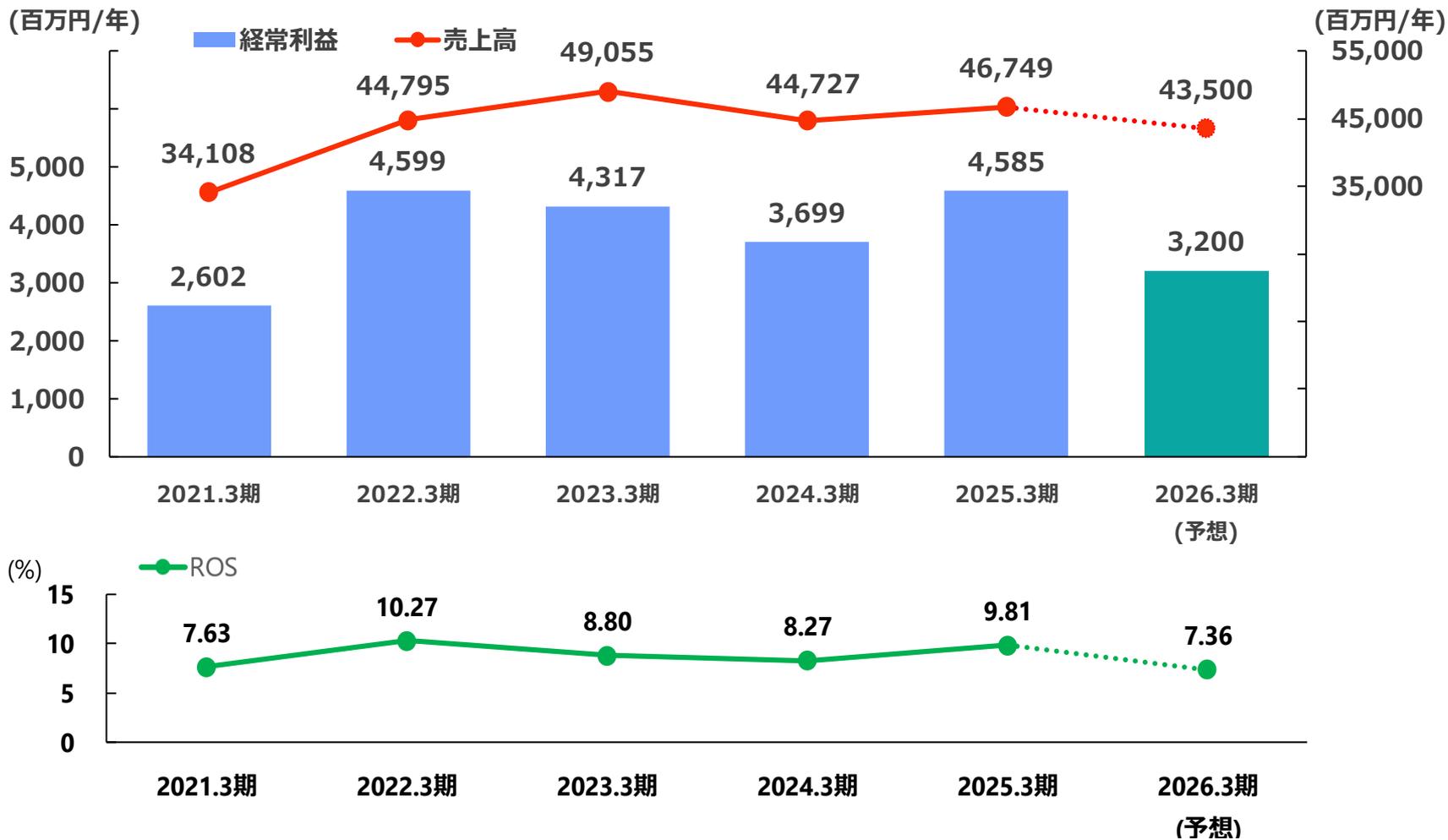
- ★数量変化：ステンレス鋼線の販売量は増加も、極細線数量減ほかによる稼働損の増加
- ★内容差：極細線の粗利大幅減、金属繊維部門は堅調
- ★固定費：労務費増（ベースアップ実施）
- ★営業外損益：為替差益縮小

単位：百万円	24年度末	25/1Q末	増減
<b>流動資産</b>	<b>38,121</b>	<b>37,238</b>	<b>▲883</b>
現金及び預金	17,065	16,628	▲437
売上債権	9,769	9,178	▲590
棚卸資産	10,947	11,136	189
<b>固定資産</b>	<b>17,763</b>	<b>18,461</b>	<b>697</b>
有形固定資産	15,745	16,547	801
<b>資産合計</b>	<b>55,884</b>	<b>55,699</b>	<b>▲185</b>
<b>負債合計</b>	<b>13,980</b>	<b>14,415</b>	<b>435</b>
仕入債権	6,479	7,108	628
退職給付に係る負債	4,212	4,260	47
<b>純資産合計</b>	<b>41,904</b>	<b>41,283</b>	<b>▲621</b>
株主資本	39,393	38,851	▲542
<b>負債・純資産合計</b>	<b>55,884</b>	<b>55,699</b>	<b>▲185</b>

## サマリー（前期末比）

★極細線や極細ばね用材増産に向けた基盤整備、設備投資を推進中





	2025.3期		2026.3期 (予想)	
	中間期	通期	中間期	通期
経常利益 (百万円)	2,341	4,585	1,100	3,200
当期純利益 (百万円)	1,609	3,250	800	2,300
配当 (円/株)	28	56	16	42
配当性向 (%)	53.4%	52.8%	61.3%	56.0%

**〔株主還元の方針〕 連結配当性向50%程度を目途に還元**



**(注記)**

**本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。**

**今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。**

**また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。**